

令和 4 年度川崎市社会教育委員会議専門部会 実施状況

	専門部会	第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回	
		日にち	報告書	日にち	報告書	日にち	報告書	日にち	報告書
1	教育文化会館	6月17日	○						
2	幸市民館	6月26日	○						
3	中原市民館	8月3日	-						
4	高津市民館	6月23日	○						
5	宮前市民館	6月28日	○						
6	多摩市民館	6月17日	○						
7	麻生市民館	未定	-						
8	有馬・野川生涯学習支援施設	7月26日	-						
9	図書館	7月1日	○						
10	日本民家園	5月21日	○						
11	青少年科学館	6月17日	○						
12	青少年教育施設	未定	-						

○・・・提出済

専門部会審議報告書

部 会 名	第1回 川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会
開催日時	令和4年6月17日（金） 13：30～15：45
場 所	教育文化会館 第4・5会議室
出席者	<p><委員>山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、永野委員、権守委員、石井委員、野口委員、杉山委員</p> <p><事務局>宮館館長、北村分館長、小島分館長、石田課長補佐、関口課長補佐、小宮担当係長、高橋主任（記録）</p> <p><生涯学習推進課>柿森担当課長、豊本担当係長</p> <p><傍聴>1名</p>
欠席者	<委員>箕輪委員
議事項目	<p>(1)教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について（公開）</p> <p>(2)研究テーマについての意見交換（公開）</p> <p>(3)今後のスケジュールについて（公開）</p>

決定・確認事項

- (1) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について
関口課長補佐、北村分館長、小島分館長より各事業について説明。
- (2) 研究テーマについての意見交換
研究テーマの趣旨について宮館館長より説明。前年度、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった、1階イベントホール前のスペースを利用した「カフェ」（お茶を提供しない「居心地の良いフリースペース」）を実施する。
- (3) 今後のスケジュールについて
第2回・・・令和4年9月27日（火）13時30分～
事務局からの具体案をもとに話し合う。
第3回・・・12月実施で日程を調整する。
第4回・・・令和5年2月19日（日）13時～
※第4回は、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会を兼ねている。

主な意見

- ・教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について
 - (村社委員) 大師分館で実施したシニアのスマホ教室で参加が多かった年代と性別について伺いたい。
 - (北村分館長) 50代・60代が中心で男性が多かった。
 - (村社委員) 平日の実施の場合、参加対象年齢を60代以上からに設定した方が参加しやすいのではないか。
 - (山澤部会長) 参加対象年齢が50歳からにすると70代の人が遠慮してしまうのでは。シニアの年齢設定とそれに合った宣伝方法を検討してはどうか。
 - (村社委員) 50代では働いている人が多いと思うので、定年後の年代に設定しても良かった

のではないかとと思われる。

(永野委員) スマートフォンの操作については中学生・高校生が得意である。生徒達が役立つ場面もあるかと思うので、協力できる部分は協力したい。

(山澤部会長) 高齢者の元気で長生きをする要因の一つには若者との交流が大切であるという意見も聞く。

・研究テーマの意見交換について

(杉山委員) 専門部会のメンバーで企画して参加者を募るのであれば、実際の他のグループの活動の様子を見学するのは可能か。

(宮館館長) 令和2年2月にプレで「キョウブンカフェ実行委員会」が実施したが、実施団体は現在活動休止中である。実施に当たっては、委員だけではなく職員も一緒に行く。

(山澤部会長) 事務局から前回の様子の説明を受けて、検討すると思われる。

(宮館館長) 通常のように広報して、それを見て参加者が来る。具体的な内容は決まっていないが、講師を呼ぶのもあるかもしれないが、場所だけを提供して自由に過ごしてもらう内容もあると思う。その場所に雑誌を置いてもいいとも考える。

(山澤部会長) プレで実施した人で参加できる人がいれば来てもらえるのか。

(小宮担当係長) 参加の呼びかけは可能だが、実行委員として参加できるかわからない。

(山澤部会長) 委員が負担なくできるように実施したい。実際にやってみると臨場感が分かり色々なアイデアが出てくると思われる。イベント等を企画して講師を呼んでまで実施するものではないと考える。

(杉山委員) 広報を行い実施するので責任を感じる。時間も限られている。

(山澤部会長) 各々の会のメンバーや知り合いを誘い参加してもらえれば負担感が軽くなると思われる。次回事務局からもう少し具体例の提示があると話を進めやすい。

(権守委員) フリースペースは時間調整で利用したことがあるくらいなので、漠然としていてイメージがつかみにくい。

(野口委員) 令和2年に見学したが、お茶を飲みつつ雑談を楽しんでいた。1人で来ている人には実行委員が話しかけていた。今は、お茶出しには制約があるかと思う。

(宮館館長) お茶は出せないが、ペットボトルの持ち込みは可能である。参考までに資料中に「キョウブンカフェ」の写真があるのでご覧いただきたい。

(永野委員) 「カフェ」をやるという話だったので、コーヒーを提供するのかと思った。皆さんもそう感じたのかもしれない。

(宮館館長) 難しく考えず、立ち寄りやすいスペースのイメージで捉えて欲しい。

(関口係長) 「カフェ」にもお茶を提供するだけではなく色々なスタイルがある。居場所を提供するだけの「カフェ」もある。こだわらずに気楽に考えてもらいたい。

(山澤部会長) お茶を出さなくても、色々なタイプの「カフェ」がある。報告書の中でも音楽を流したり、植物を置いたり色々な意見が出ているのでそれを実施しても良いのではないかと思う。次回、委員は資料を読み込みそれぞれ意見を持ち寄り、事務局からの具体案をもとに話し合いたい。

その他

生涯学習推進課 施設整備担当課長より「今後の市民館・図書館のあり方（案）」、「(仮称)川崎市民館・労働会館 管理運営計画（案）」について説明。

(村社委員) 施設利用申し込みに変更はあるか。

(柿森担当課長) 今までと同じである。

(野口委員) 今は中2階に社会教育振興系の事務室があり事務局としてイベント等の連絡先としている。指定管理になると市の職員はいなくなるのか。

(柿森担当課長) 基本は施設内の事務室には指定管理者のみである。生涯学習支援課の職員の席は区役所内になるが、必要に応じて労働会館に行くことになると思う。

(野口委員) 今の事務室のような感じになるのか。

(柿森担当課長) 詳細はこれからだが、基本指定管理者の席を置くことを考えている。ただし、生涯学習支援課職員も来ることが想定されるので設けることも必要だと考える。

(野口委員) 職員には会議等に委員として出席してもらっている。場所が変わると行き来が大変である。

(柿森担当課長) 距離は遠くなるが、頻繁に行き来をして連携できるような体制づくりをしたい。

(村社委員) 施設使用料は教育文化会館の金額になるのか。

(柿森担当課長) 教育文化会館と労働会館が一緒になるため、使用料の調整が必要である。施設使用料は条例で決められているが、他都市も参考に利用しやすい形で考えたい。その他個別に質問があれば生涯学習推進課に問い合わせさせていただきたい。併せてパブリックコメントも募集しているので、意見があればお願いしたい。

専門部会審議報告書

部 会 名	第 1 回 川崎市社会教育委員会議 幸市民館専門部会
開催日時	令和 4 年 6 月 2 6 日（日） 午後 1 時～午後 3 時
場 所	幸市民館第 2 ・ 3 会議室
出席者	<p><委員>平井委員、浦山委員、松井委員、梅原委員、大塚委員、夏井委員、片岡委員、小泉委員</p> <p>（欠席：なし）</p> <p><事務局>加藤幸市民館長、鈴木日吉分館長、松本社会教育振興係長、松下管理担当係長</p>
議事項目	<p>(1) 「市民館・図書館の管理・運営の考え方」(案)について</p> <p>(2) 前回専門部会の報告書について</p> <p>(3) 管理運営について</p> <p>(4) 社会教育振興事業について</p> <p>ア 幸市民館社会教育振興事業</p> <p>イ 日吉分館社会教育振興事業</p> <p>(5) 調査・審議事項について</p>

決定・確認事項

- (1) ～ (4) の項目について
事務局等から報告を行い、各委員から質問や意見がなされた。
- (5) 調査・審議事項について
今期審議のテーマ及び方向性の設定などについて、意見交換がなされた。

主な意見

- (1) 「市民館・図書館の管理・運営の考え方」(案)について
- ・以前から専門部会では直営を基本とするように要望してきた。指定管理者制度を導入するとのことだが、チェックやモニタリングをしっかりとってもらいたい。
- (3) 管理運営について
- ・インターネット環境の整備をお願いしたい。
- (4) 社会教育振興事業について
- ・市民館で活動している団体の高齢化が進んでいる。若い世代との交流について考えていきたい。
- (5) 調査・審議事項について
- ・幸市民館は地の利がよくない。それでも来館しようと思える企画が欲しい。
 - ・インターネットを活用した広報の充実を考えていきたい。
 - ・自主事業の制限撤廃について具体的に考えていきたい。
 - ・市民館はコミュニティづくりの場。幸区の魅力を発掘していくような取組みが必要。

その他

傍聴者：なし

専門部会審議報告書

部会名	令和4・5年度 第1回 社会教育委員会議高津市民館専門部会
開催日時	令和4年6月23日 13時30分～15時30分
場所	高津市民館 12階 大会議室
出席者	<p>●委員 迎部会長、角田副部会長 佐藤委員、志水委員、仙北谷委員、田村委員、松崎委員、渡部委員</p> <p>●事務局 坂尾館長、鈴木分館長、細谷係長、下間係長、白井職員（記録）</p> <p>●生涯学習推進課 野崎課長補佐、紺野係長</p> <p>●傍聴者 なし</p>
議事項目	<p>(1) 令和3年度高津市民館・橘分館工事執行状況について</p> <p>(2) 令和4年度高津市民館・橘分館事業計画について</p> <p>(3) 高津市民館専門部会の調査審議事項について</p>
その他	<p>(1) 今後の開催日程（案）について</p> <p>(2) 高津市民館改修工事に伴う休館について</p>

決定・確認事項

- (1) 令和3年度高津市民館・橘分館工事執行状況について
下間係長より説明を行った。
高津市民館では、13件総額103,466,780円の工事を実施。主な工事としては、舞台照明その他設備長寿命化整備や電気室空冷式パッケージエアコン補修工事があった。
橘分館では、10件総額1,859,596円の工事を実施、主な工事としては、出入口通路段差その他補修工事があった。
- (2) 令和4年度高津市民館・橘分館事業計画について
細谷係長より説明を行った。
いくつかの事業枠に分かれて、各種事業を社会教育振興係の職員が市民、あるいは企画委員やボランティアと協働し、職員同士で検討しながら進めている。
今年度から「青少年教室事業」、「成人教室事業」、「市民講師活用事業」が始まった。
- (3) 高津市民館専門部会の調査審議事項について
坂尾館長より説明を行うとともに、運営審議会に向けた研究テーマの意見を集約した。

主な意見

(1) 令和3年度高津市民館・橘分館工事執行状況について

これに関する意見はなし。

(2) 令和4年度高津市民館・橘分館事業計画について

迎 委 員 「年代ごとの事業を地域にご提案していて流石だと思う。指定管理ではこうはいかないと思う。こういう精神を大切にしてほしい。

テレビを見てみると、“大激変の時代”と言われ、定年が75歳まで伸びるのではないかと言われている。すると60歳になるくらいからこれまで勤めてきた仕事をリタイヤして、別の仕事に就く人が出て、若い人を育てられない社会になっていく。教養を学ぶだけではなく、40・50代のあたりから別の学習機会を得られるリカレント教育のような講座があると良いと思う。次の自分のステップに進むために、入口だけでも学びの機会があると救われる人がいると思う。」

細谷係長「資料は高津市民館・橘分館が実施する事業だけを示しているが、社会教育振興事業の中にリカレント教育の枠もある。今年度は高津区内で特に課題と思われるものを優先したため、今後、検討していく。」

迎 委 員 「市民講師活用は良い。いろいろな組織を経験して、知識を持っている市民がいると思う。市民が自由に出入りでき、情報を提供できるのはとても良い。」

細谷係長「1日で募集定員に達した。市民に大変喜ばれ、受講者はとても熱心に取り組んでいる。受講者同士が否定せず、認め合って、協力しながらやっており、良い影響を出し合っていると報告を受けている。」

角田委員「どういった分野が取り上げられているか。」

細谷係長「高津区の地理や戦争、パッチワーク、人に伝える手法などと様々。驚いたのは40代・子育て中の男性が仕事の延長線で興味を持った農業のレクチャーしたこと。それ以外にも、たくさんの引き出しを持っていて、他の受講者の内容を見てから考えるという人もいる。」

迎 委 員 「引きこもりが多くなっている。40代・50代の男性にも多く、介護される側が介護する側になっている家庭も中にはある。そういう人が集まり、語り合える場を持てる機会がほしい。呼びかけが難しいが、あっても良いと思う。」

細谷係長「どういった形だと参加しやすいか考えていきたい。」

仙北谷委員「コロナ禍前と今を比べて、どれくらい市民が戻ってきているか。」

細谷係長「Withコロナと考える人とまだ出て来られない人の二極とを感じる。コロナ禍前どおりに戻ってはいないが、公共機関が一番安全で、一歩踏み出すには良い機会になるようで、“市民館がやってくれたら”という想いを持っている人もいる。」

仙北谷委員「勤務形態が変わって日本中どこでも移住する人が出ている。どんどん時代が変わっていく中で、こういう話を聞いていると、ひとつひとつ意味のあることだと思うが、あまり知られていない。丸井の出入口の案内や広報の手段を考えて

ほしい。」

細谷係長「広報は課題であり、大切なことだと考えている。最大限にアンテナを張り巡らせて、更に力を入れたいと思う。」

(3) 高津市民館専門部会の調査審議事項について

迎 委 員「平成30年・31年の外国につながる子どもの学習支援のあり方について、高津市民館からボランティアの続かない、ボランティアの育成含め多文化共生をやりたいという申し出を受けて実施した。」

田村委員「具体的な内容が良い。外国人市民の子どもの学習は良かった。母国語と違うところで抽象的な概念を身につけるか、身につける困難さとか。」

坂尾館長「前回、地域づくりはどうしたら良いのかという話の流れで、学校と地域の連携なら寺子屋、では、市民館と地域ではどんな連携があるだろうというところから、市民館のMANABUについてご意見をいただいた経過がある。多文化共生の話が出たが、現在それぞれが考えている課題から取り組みの内容を決めていく形はどうか。今回は、これまでの取り組みの情報提供をしたので、これを基に考え、次回、意見を持ち寄っていただきたい。」

角田委員「細谷係長から説明していただいた市民館の事業というのは、必要とされている分野や年齢層などが含まれている。そういうところからいろいろな世代の繋がりがいろいろな境遇の人が集えるものが出てくると良い。この中にいろいろなテーマがあると思う。」

細谷係長「基本的に社会教育振興事業としては、芽が出るところまで育てて、そこから結びつけるというもので、最初からこの事業だけここまで持っていくというのではなく、それぞれの事業で芽を育てながら、結びつけていくというもの。」

仙北谷委員「1つではなく、2つ、3つ提案していただきたい。その中から掘り下げてはどうか。」

MANABUは今年も実施するのか。」

細谷係長「実施する。」

迎 委 員「高津区にも学校がたくさんあり、中原区に近い学校と多摩区に近い学校もあるが、高津区の学校に通っている。高津愛をどう繋ぐか。すごく小さなことだが、ある人から小さい頃に自分の作品がアートガーデンに展示されたことが嬉しくて、今も覚えていると聞いて、そういう経験をさせてあげたい。よく川崎市をテーマにした作文や絵画のコンクールをやっているが、高津にもこんなところがあるとわかるような交流を出来ると良いと思う。」

高津区の学校は何校あるか。」

渡部委員「小学校が15校、中学校が5校、中央支援学校が1校。」

迎 委 員「イベントの場所としてもやってみる価値はある。今の子どもたちが大人になったときのステータスになる。」

案があれば坂尾館長まで。」

その他

(1) 今後の開催日程（案）について

第2回専門部会：令和4年10月14日（金）午後1時30分～3時00分

第3回専門部会：令和4年12月9日（金）午後1時30分～3時00分

第4回専門部会：令和5年2月18日（土）、19日（日）、25日（土）、26日（日）

いずれかの日程 午後1時30分～3時00分

→第2回は決定。第3・4回目については、第2回開催時に再調整。

(2) 高津市民館改修工事に伴う休館について

令和5年1月から2月の間、館内の空調工事に伴い全面休館となる。貸館はないが、受付・電話等のサービスは継続する予定。

半導体の製造の状況によっては工事時期が遅れていく可能性がある。

専門部会審議報告書

部 会 名	令和4年度第1回 川崎市社会教育委員会議宮前市民館専門部会
開催日時	令和4年6月28日（火）10時から12時まで
場 所	宮前市民館4階第4会議室
出席者	<p>〈委員〉川西和子（部会長）、山本良子（副部会長）、山本太三雄、渡辺美代子、高久實、榑崎光雄、當間幸江</p> <p>〈事務局〉齊藤館長・岸本課長補佐・徳原係長（宮前市民館） 田添分館長（菅生分館）</p> <p>〈その他〉野崎課長補佐、紺野担当係長（教育委員会生涯学習推進課）</p>
議事項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状伝達 2 委員・職員紹介 3 資料確認等 4 川崎市社会教育委員会議「宮前市民館専門部会」について 5 正副部会長の互選について 6 （1）報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ア「市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）」について イ 宮前市民館・菅生分館の管理運営予算及び実施計画について ウ 宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について （2）協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ア 今期の研究課題について （3）その他 次回、第2回宮前市民館専門部会の開催日程について

決定・確認事項

- 5 宮前市民館専門部会 正副部会長の互選について
 - ・部会長 川西和子委員、副部会長 山本良子委員に決定した。
- 6 （1）報告事項
 - ア「市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）」について
 - ・野崎課長補佐、紺野担当係長より「市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）」について報告・説明した。
 - イ 宮前市民館・菅生分館の管理運営予算及び実施計画について
 - ・岸本課長補佐より宮前市民館・菅生分館の管理運営予算及び実施計画について報告・説明した。
 - ウ 宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について
 - ・徳原係長より宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について報告・説明した。
 - ・田添分館長より宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について報告・説明した。

- 6 (2) 協議事項（今期の研究課題について）
 - ・次回会議において各委員が原案を持ち寄り協議する。
- 6 (3) その他
 - ・次回、第2回宮前市民館専門部会の開催日時 9月21日（水）午前10時～

主な意見

- 6 (1) 報告事項
 - ア「市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）」について
 - ・莫大な人数が関わっている市民館を一館すべて指定管理者へ委託することは、長期間の市民との関わりによる生涯学習の本当のシティズンシップが生まれてこない。指定管理者制度は5年に一度、指定管理者が変わる。人材育成における「継続」の担保はできるのか。
 - ウ宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について
 - ・市民自主企画事業や市民自主学級事業はじめ、市民館だよりや菅生分館だよりやチラシをご覧いただいて、講座や活動の見学をすることで、専門部会委員として活動を注視して興味を持っていただきたい。

その他

なし

専門部会審議報告書

部 会 名	令和4年度第1回 多摩市民館専門部会
開催日時	令和4年6月17日（金）14:00～16:00
場 所	多摩市民館第4会議室
出席者	小澤（洋）委員、小澤（章）委員、米山委員、齊藤委員、吉田委員、三品委員、高梨委員、小園委員
議事項目	(1) 令和4年度施設管理等について (2) 令和4年度多摩市民館社会教育振興事業計画について (3) 今期の進め方について～「テーマ」について～

決定・確認事項

- (1) 多摩市民館専門部会会長、副会長の選出
会長 吉田 紀代子 副会長 高梨 宏子
- (2) 今年度の日程について
・第2回 9月12日（月）午前10時～

主な意見

- (1) ふれあいネットが団体ではなく個人カードになって、会議室等を借りる際の競争率が上がることの懸念について。
- (2) 寺子屋は良い制度だが、遊びではなくここをきっかけとして勉強ができない子を救うことを強化してはどうか。
- (3) 寺子屋では世代間交流が出来ればいいと思う。
- (4) コロナ禍で子どもが遊びを通して学ぶ機会が無くなり遊び方が分からなくなっている。
- (5) 多摩区は市民館が1カ所で不便な地域も多く、団体での関わりでもないに行くことも少ない。出張所などの方が便利。
- (6) 他都市では校区に公民館があり身近だが、市民館は区全体と関わりが持てるのも魅力の一つではないか。
- (7) 利用度アップはターゲット絞って考えてみてはどうか。市民の地域との関わりにはグラデーションがある。

その他

傍聴者：無

専門部会審議報告書

部会名	令和4年度第 第1回 図書館専門部会
開催日時	令和4年7月1日（金） 10:00～12:00
場所	中原図書館多目的室
出席者	<p>委員：平木委員、小野委員、菅原委員、今野委員、渡部委員、吉田委員、青柳委員、千委員、渡邊委員（9名出席）</p> <p>※9名の委員出席により川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項、過半数以上の出席により定数を満たし本会議は成立した。</p> <p>図書館：横田・川崎図書館長、丸山・幸図書館長、小島・中原図書館長、土屋・高津図書館長、舟田・宮前図書館長、澁谷・多摩図書館長、和田・麻生図書館長</p> <p>生涯学習推進課：山口担当課長、紺野担当係長</p> <p>事務局：中原図書館 能塚・庶務係長、関・利用サービス係長、浅野課長補佐・資料調査係長、植原主任 飯草課長補佐・図書館ネットワークシステム担当係長</p>
議事項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状伝達 2 教育委員会事務局（市立図書館）あいさつ 3 委員自己紹介並びに職員紹介 4 川崎市社会教育委員会議図書館専門部会の職務 5 川崎市社会教育委員会議図書館専門部会部会長、副部会長の選出 6 協議・報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民館・図書館の管理運営の考え方（案）について（生涯学習推進課） (2) 川崎市立図書館の現状について (3) 「今後の図書館のあり方」について (4) 「第4次読書のまちかわさき子ども読書推進計画」について (5) 今期の図書館専門部会の進め方について (6) 今後の図書館専門部会の開催日程について

決定・確認事項

- ・ 部会長に青柳委員、副部会長に吉田委員を選出
- ・ 次回第2回にて、今後の協議題の検討を行う。事前にアンケートを実施する
- ・ 第2回は9月中旬頃に開催予定

主な意見

市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）について

- (1) 市民の理解を得るためにもう少し時間をかけるべき
- (2) どのような意見が、どのくらいの市民から出ているのか、整理していただきたい
- (3) 指定管理者制度導入について図書館に精通した職員と十分に相談してほしい

「今後の図書館のあり方」について

- (4) 利用者の需要に応じて施策を考えた方がいい。それにより重点施策も変わってくるのではないか
- (5) 現状でも指定管理に引けを取らないぐらい直営で素晴らしいイベントができているのではないか

今期の図書館専門部会の進め方について

- (6) 例えば市内の小学校の副読本を集める等、各図書館がそういうものを企画していけば、まさしく今回の図書館専門部会のテーマにぴったりではないか

その他

傍聴者：3名

専門部会審議報告書

部 会 名	令和4年度 第1回社会教育委員会議日本民家園専門部会
開催日時	令和4年5月21日(土)
場 所	旧原家住宅2階
出席者	委 員 高橋部会長、大野副部会長、菅野委員、野尻委員、長谷川委員、柴田委員、入江委員、松本委員、原田委員 事務局 澁谷園長、東担当係長、真保職員
議事項目	(1)博物館の事業評価について (2)令和4年度事業評価シートについて

決定・確認事項

・令和4年度の事業計画について、「令和4年度川崎市日本民家園事業計画・評価シート」を基に各事業内容について概要やスケジュールを確認しながら意見を交換した。

主な意見

- ・民家園らしい景観を考えた園路整備を行ったほうがよい。
- ・地下収蔵庫の燻蒸は、資料への影響を確認した上で行ってほしい。
- ・インフォメーションやガイドの一言を添えると同じものでも印象が変わるし今あるものを生かせる。現在昔話講演等で実施している告知アナウンスもぜひ続けてほしい。
- ・古民家の工事の見学やガイドはエンターテインメントとして興味深いためぜひ行ってほしい。
- ・中学校は時間の制約があって来園が難しい学校が多いが、園がYouTubeにアップしている事前学習動画等を活用して、来園せずに勉強することもできると思う。
- ・広報におけるYouTubeの活用をさらに進めてほしい。
- ・ボランティアの炉端の会は、新規入会の機会がこれまで年1回だったが、随時入会を受け付けることを検討してほしい。
- ・コロナ禍でボランティア活動が休止していた間は園の様子もさびしく、古民家内の清掃も行き届かない感じだった。活動再開してよかった。
- ・目標数値だけで事業評価を行うのではなく、来園者アンケート結果も知らせてほしい。

その他

- ・特になし

専門部会審議報告書

部 会 名	令和4年度第1回 青少年科学館専門部会
開催日時	令和4年6月17日（金） 14:00～16:00
場 所	青少年科学館 自然学習棟2階 学習室
出席者	<p><委員>服部委員、南條委員、上野委員、高橋委員、川島委員、山岡委員、栗芝委員、真壁委員（欠席：田中委員、常喜委員）</p> <p><事務局>久保館長、弘田係長、高中係長、杉浦指導主事、川上係長、本郷主任、服部主任、内藤職員、上田業務責任者（指定管理者）</p>
議事項目	<p>(1) 令和4年度予算・事業計画について</p> <p>(2) 報告事項（第2期運営基本計画、今後の開催スケジュールについてほか）</p> <p>(3) その他</p>

決定・確認事項

- (1) 令和4年度事業計画について
 - ・自然、天文、科学の各分野における収集保存、展示、調査研究、教育普及、ネットワーク、管理運営の各事業に係る事業計画について説明。質疑応答のうえ了承を得た。
- (2) 報告事項
 - ・第2期運営基本計画の策定、開催スケジュールの概要等を報告し、質疑応答を行った。

主な意見

- リュウグウ展示などタイムリーに取り上げるのは良いと思う。ほかにも、ポスターを掲示するなどして適宜、話題に対応してほしい。
- 星の見え方調査において、天候は仕方ないとしても、もっと参加してもらうためのインセンティブがあればよいのではないか。また、期間を長くするなど、検討してほしい。特別観望会では、突然の天文現象にも対応できる体制になっているとよいと思った。
- 「かわさき自然調査団」と共著で結果を報告とあるが、川崎市の専門職員（学芸員）としてどういことを実質的に担うのか分からない。例えば、紀要にも学芸員との共著の報文があるが、内容に関してどのように分担したのか明文化されていない。外部からわかるようにしてほしい。
- 職場体験について、ここ数年はコロナ禍で難しい状況。その場合来校しての講座など、来ていただければ嬉しい。小学校の科学作品展がコロナ禍で令和2年・3年に開催できなかったが、今年度は開催予定である。市長賞なども出てくると思うので、展示をおねがいしたい。また、川崎市の教職員を対象に指導力向上のため、生田緑地の観察会を12月に実施する。連携して進めたい。
- ホームページに改善すべき点が多い。年間の館業績の記録として重要なものである年報が事業計画の項目中にあり、外部からは所在が分かり難く、閲覧しにくい。また、他館のHPにあるように、学芸部門の各職員（学芸員）の欄があり、どのような仕事をしているのかわかるようにしてほしい。いかなる人が働き、それぞれどのような成果をあげているのかわかりやすくなると思う。

その他

傍聴者：無し